

広島市の感染症発生状況(平成14年度)

生物科学部

はじめに

広島市内で発生した感染症のうち、2類および3類感染症は、保健所、各区の保健センター、医療機関などとの連携の基に患者接触者や菌株等の検査を実施している。

平成14年度の広島市内における2類および3類感染症の発生状況を報告する。

方 法

1 感染症発生状況

市内の医療機関から保健センターへ届出された

表1 細菌性赤痢

No.	届出日	性別	年齢	住所(区名)	渡航先	血清型	備考
1	14. 6. 2	男	32	佐伯	インドネシア	<i>S. sonnei</i> I	
2	14. 9. 21	女	21	西	フィリピン	<i>S. sonnei</i> I	
3	14. 9. 26	男	30	中	エジプト	<i>S. sonnei</i> I	
4	15. 3. 26	女	23	南	インド	<i>S. sonnei</i> I	

表2 腸チフス

No.	届出日	性別	年齢	住所(区名)	渡航先	血清型	備考
1	14. 8. 26	女	19	市外	ベトナム	<i>S. Typhi</i>	

表3 腸管出血性大腸菌

No.	届出日	性別	年齢	住所	血清型	毒素型	備考
1	14. 5. 21	男	4	東	026 H11	VT1+VT2-	
2	14. 5. 31	男	5	安佐北	0111 H-	VT1+VT2+	
3	14. 6. 25	男	11	安佐北	0111 H-	VT1+VT2+	
4	14. 6. 28	男	65	安佐北	0111 H-	VT1+VT2+	3の祖父
5	14. 7. 12	女	1	安佐南	026 HUT	VT1+VT2-	
6	14. 7. 20	男	1	安佐北	026 HUT	VT1+VT2-	
7	14. 7. 24	女	23	安佐北	026 HUT	VT1+VT2-	6の母
8	14. 9. 2	女	12	安佐南	0157 H7	VT1-VT2+	
9	14. 9. 13	女	1	安佐南	026 H11	VT1+VT2-	
10	14. 9. 17	女	55	安佐北	026 H11	VT1+VT2-	
11	14. 10. 14	女	15	西	0157 H7	VT1-VT2+	
12	14. 10. 17	男	23	西	0157 H7	VT1-VT2+	
13	14. 12. 4	男	3	安芸	026 H-	VT1+VT2-	
14	14. 12. 7	男	5	安芸	026 H-	VT1+VT2-	13の兄弟
15	14. 12. 7	男	1	安芸	026 H-	VT1+VT2-	13の兄弟
16	14. 12. 11	女	28	佐伯	0157 H7	VT1-VT2+	

よるもので、すべて *Shigella*(*S.*) *sonnei* であった。

2 腸チフス

市内の医療機関から海外渡航者による届出が 1 名あったが、広島市外の居住者であった。

3 腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況を表 3 に示す。16 名の届出があり、内訳は 026 が 9 名、0157 が 4 名、0111 が 3 名であった。

いずれも散発事例で、施設における集団発生事例はなかったが、家族内感染例が 3 例に見られた。

腸管出血性大腸菌の血清型と毒素型を表 4 にま

とめた。026 は VT1, 0157 は VT2, 0111 は VT1+VT2 であった。

表 4 腸管出血性大腸菌の血清型と毒素型

		VT1	VT2	VT1+VT2	計
026	H11	3	-	-	3
026	H-	3	-	-	3
026	HUT	3	-	-	3
0157	H7	-	4	-	4
0111	H-	-	-	3	3
	計	9	4	3	16